

2017 年度岩木健康増進プロジェクト健診に ご参加いただいた皆様へ

研究機関名： 弘前大学大学院医学研究科
データ解析学講座
研究責任者： 玉田 嘉紀

皆様の試料・情報を利用させていただき、下記の研究を弘前大学大学院医学研究科倫理委員会の承認ならびに研究機関の長の許可のもと、倫理指針および法令を遵守して実施します。

本研究への協力を望まれない方は、下記連絡先までお申し出くださいますようお願いいたします。

Healthcare and Oriental Medicine:

臨床研究名称 Analyzing health checkup data from oriental
“Syndromes” viewpoint.

「東洋医学的「証」の視点に基づく健診データの関連構造に関する多変量解析」

研究の目的

東洋医学は、体質、生活習慣、心身の状態（ストレス）等を起因とする疾病の予防と改善を目的に発展したものです。現代社会においては、疾病の慢性化・複雑化とともに、慢性疾患や一定の支障を持ちながらも生活の質を維持・向上させ、身体的だけでなく精神的・社会的な健康を保つ時代へのシフトが見られています。それに伴い、慢性疾患やストレスケアに対する東洋医学などの伝統医学へのニーズが高まっています。WHO（世界保健機関）による「国際疾病分類」の第 11 回改訂版（ICD-11）では、東洋医学が「伝統医学」として第 26 章に追加され、科学的データの収集が求められています。本研究では、弘前の健診データを用いて、先行研究において構築された弘前東洋医学スコアと、血圧、血液検査、体力測定、生活習慣等の健診データとの関連構造を統計学的に解析します。これにより、東洋医学的な症候傾向と現代医学的な健診項目との関連を探索的に明らかにすることを目的とします。

研究実施期間 実施許可日 ～ 2028 年 3 月 31 日
対象となる方 2017 年の岩木健康増進プロジェクト健診に参加された方

利用させていただきたい試料・情報について

先行研究「岩木地区住民における健康調査およびこれに基づく疾患予兆法と予防法の開発（承認番号：2021-030）」において 2017 に取得された以下のデータを研究責任者である玉田嘉紀の責任の下、標記研究課題実施のために利用します。

（使用データ）

個人記録票、骨密度(超音波)、骨密度(DXA)、体組成、InBody、四肢血圧、血液・尿、呼吸機能、呼気ガス(CO,CH3,H2)、呼気ガス(NO)、視力、認知機能、BDHQ_nutr、BDHQ_food、体力、ロコモ 25 判定、ペグボード

具体的には、東洋医学的な指標と、血圧や血液検査などの検査数値グループが全体としてどのように関連し合っているかを統計学的に分析します。その結果に基づき、似たような体質や数値の特徴を持つ方々をいくつかのグループに分類した上で、項目間の影響し合うネットワーク構造を AI 技術等を用いて計算し、グループごとの特徴の違いを詳しく検討いたします。

なお、本研究で利用する情報は、先行研究で収集し、加工（氏名、住所および生年月日と切り離し、照合のための符号・番号を付与）され、岩木データベースに登録された情報です。

研究成果については、学会発表や論文投稿等の方法で公表されますが、その内容から対象者個人が特定される事はありません。そのため、本研究により個人に還元する臨床的意義のある結果は得られないため、個別の結果については原則としてお答えできません。

外部への試料・情報の提供

収集した情報は、個人を特定できる情報を削除したうえで共同研究機関である京都大学（研究責任者 京都大学大学院医学研究科 ビッグデータ医科学講座・教授 奥野恭史）へ提供します。

本研究課題について、より詳細な内容をお知りになりたい場合は下記へご連絡ください。研究への利用に同意いただけない場合には、「**情報利用提供停止願**い」をご提出ください。参加者／その代理人の方から、試料・情報の利用停止を求める申し出があった場合は、その方の試料・情報については対象から除外します。ただし、連絡いただいた時点で既に研究成果公表済の場合は、該当者のデータのみを削除する等の対応は出来かねますので、ご了承ください。

本 件 連 絡 先・情報利 用停止願送 付先	弘前大学大学院医学研究科附属健康・医療データサイエンス研究センター 医療データ解析学講座 教授 玉田 嘉紀 住所 〒036-8562 弘前市在府町 5 電話：0172-39-5037(代表) FAX：0172-39-5205
---	---